

6月定例会

会期は6月17日～19日
一般質問は4人で8件です。



条例の制定

- ・ 様似町公告式条例の一部を改正する条例
- ・ 様似町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ・ 様似町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ・ 様似町特定乳児等支援事業の運営に関する基準を定める条例

監査委員の選任

- ・ 田中 則男 氏

公平委員会委員の選任

- ・ 樫田 奈緒美 氏

農業委員会委員の選任

- ・ 中村 和明 氏
- ・ 中村 勝則 氏
- ・ 小原 忠 氏
- ・ 柵木 雅美 氏
- ・ 菊池 智 氏
- ・ 辻 陽 氏

その他

令和7年度専決処分案件の承認 5件

令和8年度 補正予算案件 2件

議会のうごき

総務・産業 常任委員会	6月1日
社会・文教常任委員会	6月2日
議会広報常任委員会	3月30日・4月30日・5月11日（議会だより編集14日間）
議会運営委員会	3月5・6日 3月24日・6月12日

介護老人福祉施設に関する調査特別委員会

3月5日・12日・16日・4月30日・（視察 5月22日）・6月8日

全員協議会 3月6日・30日・4月30日・5月7日・6月8日・12日

日高東部消防組合議会定例会 3月25日

日高東部消防組合議会臨時会 5月21日

日高東部衛生組合議会定例会 3月25日

重要な監査の指摘

～3月定例会にて議決された監査請求結果～

議決理由

- ・令和3年から令和6年度までは財務規則に基づく適正な事務処理についての記述があり、令和4年度においての随意契約については、財務規定に該当するかの疑義のある回答がある。
- ・随意契約の運用としても全課が統一した解釈で運用できるようにすることが必要である。
- ・これらの事から、物品購入に際して改善が図られるよう調査を願ったものである。
- ・令和7年度備品購入
- ・需用費による物品購入の入札
- ・随意契約について

監査の着眼点

- 1.契約手続き
契約方法の選定は適切か。
見積の徴収方法は適切か。
- 2.見積案内業者選定
業者の選定はどのように行っているか。
業者選定に偏りはないか。
- 3.物品等の選定はどのように決められているか。
- 4.同等品はきちんと認められているのか。
- 5.契約内容は、財務規則に基づいているか。
- 6.請書内容はどのように規定されているか。

結果

- ・一連の契約事務については、全てにおいて競争入札はなく、随意契約であった。
- ・見積の徴収方法については、2人以上の者を選定し、見積案内を発するものの、1人のみであった場合、財務規則の解釈と運用が不明確である。
- ・見積案内業者選定は、恣意的なものではなく、疑念等もたれる事のないよう広く町内各業者を選定し納入機会の均等化をもとめる。
- ・町役場各課で共有統一した運用をする必要があり、指針、マニュアル、財務規則への規定は必要である。
- ・物品等の選定については、契約する際、製造又は販売メーカー等が指定され、同等品での見積機会を認めていないのが多数あり、これは、より安価で買える可能性を妨げ町内各業者の納入機会を妨げるものである。
- ・同等品での契約の可否について検討が必要。

契約内容については、各担当課による前例や恣意的と思われる運用が多数あり、これらは、全ての町内業者の機会均等、競争性、経済性を欠くもので町との契約であるにもかかわらず、担当課によって契約内容に違いがあるのは、公正、公平が求められる一連の契約事務に疑念が持たれるものである。